

奈良女子大学
古代学学術研究センター

第 1 2 回月例研究会

日時：2011年10月5日（水）16：30～

場所：生活環境学部会議室（生環 A 棟 1 階）

内容：「出土琥珀玉の産地推定は可能か」

植田 直見（奈良女子大学古代学学術研究センター・
特任教授／（財）元興寺文化財研究所）

「古代の遺跡から出土する琥珀玉がどこから来たのか、科学分析により産地を推定する試みが40年近く前から行われてきた。当時は赤外分光分析により産地推定が可能であるとされていた。しかし、有機物である琥珀は劣化状態によっては赤外分光分析では推定が不可能な場合も多く、方法を見直す必要性を認識し、これまで様々な分析を試みてきた。

今回は現時点までに試みた様々な分析方法の結果と産地推定の可能性について報告する。」

ご自由にご参加下さい